DOC

クール目　day

ドセタキセル療法を受けられる方へ

担当薬剤師

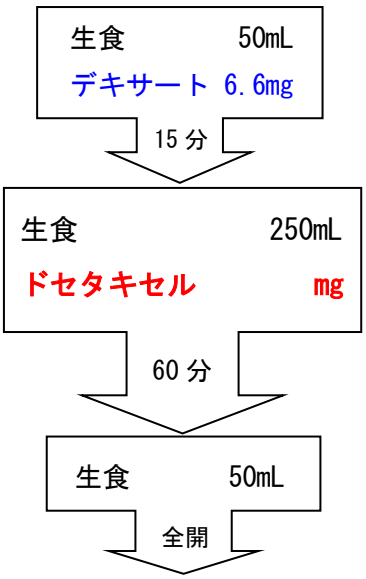
科　ID:　　様

【投与スケジュール】

	1 日目	2～21 日目
ドセタキセル	○	

☆3 週間ごとに繰り返し投与します。
☆検査の結果によりスケジュールや投与量が変わることがあります。

【点滴内容】



デキサート：吐き気やアレルギー症状を抑える薬です。

ドセタキセル：がん細胞の増殖を抑える薬です。

【主な副作用と対策】

ｱﾅﾌｨﾗｷｼｰ様症状：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

白血球減少：投与後 7～14 日頃に最も減少すると言われています。
白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、
風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、
うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。

赤血球減少：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。

血小板減少：投与後 7～21 日頃に最も減少すると言われています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

食欲不振・悪心・嘔吐：投与後～2ー3 日ほど現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与していますが、他の薬もありますのでつらい時には申し出てください。また、食事はにおいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ、食べられる分だけ摂取するようにしましょう。

脱毛：投与後 14～21 日経つと抜け始めます。
治療終了後 6 ヶ月ほどで生えそろってきます。

筋肉痛・関節痛：投与 2～3 日後に肩や背中、腰、腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。一過性のものですが、辛いときには痛み止めを使用してください。

浮腫：手足や顔がむくむことがあります。体重の変化に注意しましょう。
予防にデカドロンというお薬を内服します。

末梢神経障害：手足がしびれたり、痛みがでることがあります。ボタンがかけにくい・字が書きにくいといった症状が出てくるようでしたらお知らせください。

発疹：皮膚が赤くなったり、かゆみが出ることがあります。
ひどい場合には知らせてください。
塗り薬が処方されていますので、指示通り使用してください。

色素沈着・爪の変形：皮膚や爪の色が着色したり、爪が変形してしまうことがあります。
長い時間直射日光にあたらないようにしましょう。
治療が終了すれば徐々に元に戻ります。

味覚障害：食べ物の味が変わって感じることがあります。治療が終了すれば徐々に治ります。

便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。下剤や便を軟らかくする薬も使います。

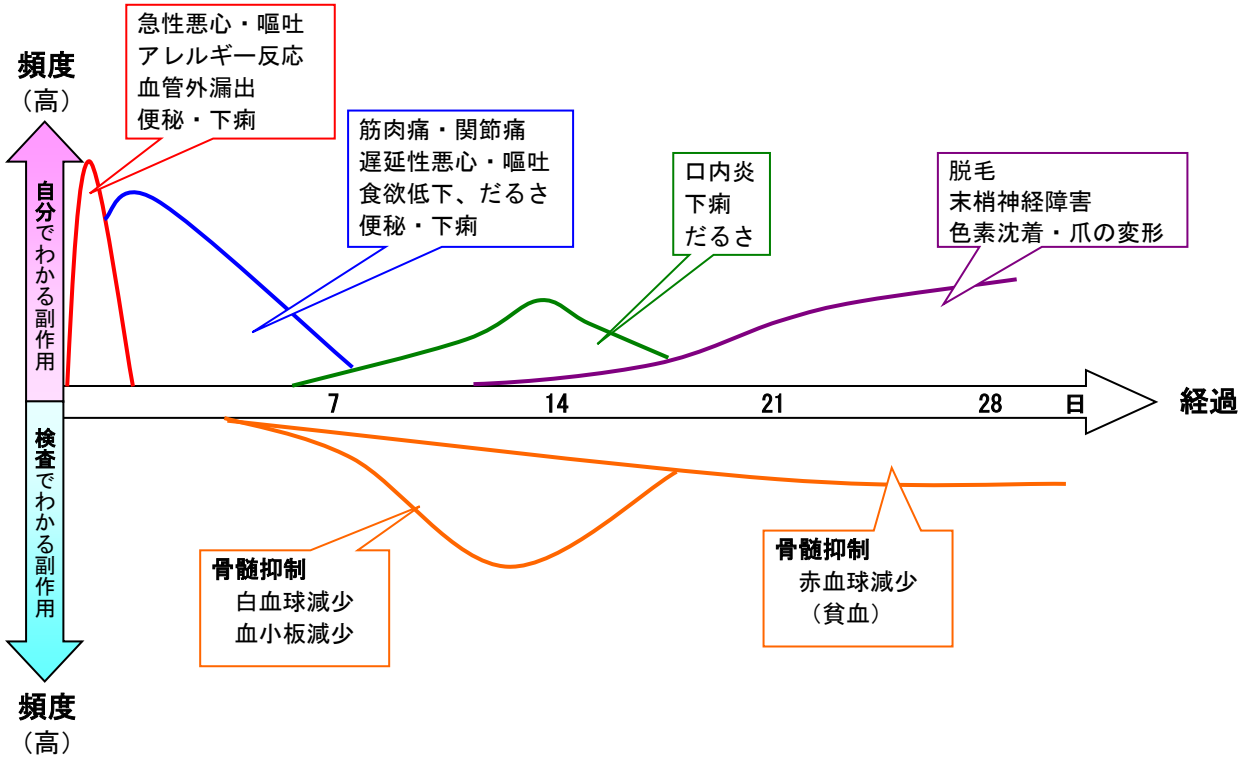
下痢：下痢をしている間は脱水にならないように水分を摂取しましょう。

口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

腎・肝障害：お薬によって腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。

間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。
咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。

主な副作用の発現時期と程度のイメージ



副作用の全てが現れるわけではありません。
また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。
気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。
この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。

お薬に関する相談先
北信総合病院　(代表)0269-22-2151
薬剤部　医薬品情報管理室　内線　2530